（1）令和６年度の事業計画について

①指定文化財保存・管理事業

（ア）清掃管理委託

・「二子山石器製作遺跡・三ツ石」（合志市シルバー人材センター）
・「黒松古墳群・合志義塾跡」（黒松区）
・「虚空蔵さん」（上庄区）
・「豊岡宮本横穴群」（上庄区）
・「医音寺跡」（上町老人会）
・「生坪塚山古墳・石立石棺」（生坪区）
・「笹塚古墳」（所有者）
・「桑鶴遺跡」（出分区）　　計 11 箇所

（イ）文化財説明看板設置業務（二子山石器製作遺跡）

▲現状の看板（駐車場）

▲現状の看板（道路側）

▲石切り場設置予定箇所

▲古墳

（ウ）埋蔵文化財発掘調査

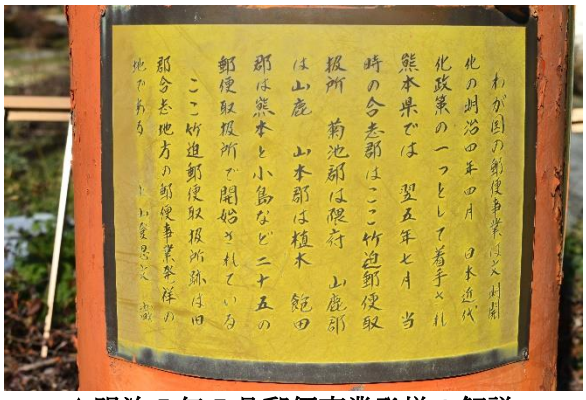
・令和５年度分の試掘・確認調査報告書を作成予定である。
・開発が増加傾向にあり、本調査となる可能性がある案件が複数あり。
・合志小の学童施設建設に伴い合志小グランド跡に残る土俵（福の花寄贈）を撤去するため記録保存及び確認調査を行う予定。

（エ）社寺調査

・今年度も実施する予定であり、現在、日程を検討中である。

（オ）郵便取扱所跡記念碑の撤去保管

▲（竹迫上町）



▲明治５年７月郵便事業発祥の解説

（カ）竹迫観音祭の助成金について

②合志市歴史資料館運営事業

（ア）ふるさと探訪まちめぐりバス

回／開催日	「タイトル」／ 内容
第１回 ４月 25 日（木） ５月 10 日（金）	「熊本博物館の見学とわくわく座、熊本城を巡る」 ■熊本博物館ではプラネタリウム鑑賞、熊本城登楼し案内ボラと共に見学する
第２回 10 月 29 日（火） 11 月８日（金）	「北里柴三郎記念館」「坂本善三美術館」「須永博士美術館」「鍋ケ滝」を巡る ■阿蘇郡小国町周辺の記念館、美術館、名勝を巡る。（12/2 に予備日）
第３回 11 月 27 日（水） 12 月４日（水）	「合志市の地名その由来と伝承の地を巡る（旧西合志町）（第２回）」 ■旧西合志町の地名の由来を学び、その地名の由来の地・旧跡を巡る

（イ）子ども歴史科学体験教室

回	開催日	活　動　名	場　所
1	５月 18 日（土）	「ブーメラン・傘袋ロケット」であそぼう他	サブアリーナ
2	６月 29 日（土）	「世界一軽い飛行機」を飛ばしてあそぼう	サブアリーナ

3	7 月 26 日（金）	「県立装飾古墳館」で学ぼう	県立装飾古墳館
4	9 月 15 日（日） 9 月 16 日（月）	第 1 回「古代人のペンダント・勾玉」をつくろう」	工芸実習室
5	未定	「森」とあそぼう	弁天山公園
6	10 月 15 日（火）	「阿蘇神社・地震ﾐｭｰｼﾞｱﾑ」でまなぼう	阿蘇町・南阿蘇村
7	11 月 9 日（土）	「ｻｲｴﾝｽﾏｼﾞｯｸｼｮｰ」と「ｽﾄﾛｰﾄﾝﾎﾞ」をつくろう	サブアリーナ
8	12 月 21 日（土）	「空気大砲」を作ってあそぼう	サブアリーナ
9	12 月 26 日（木）	「熊本博物館」＆「熊本城」で学ぼう	熊本市
10	3 月 27 日（木）	未定	
	予備日	第 2 回「古代人のペンダント勾玉をつくろう」	工芸実習室

（ウ）特別展

・「半導体と熊本の未来」をテーマに、令和 6 年 9 月～翌年 2 月まで特別展を実施する。

・ＴＳＭＣの進出に伴い、市・県・国を挙げて「半導体」を核としたアイランド構想が進められていることから、半導体の基礎やその役割、またそれが熊本の未来にどう影響し関係するかを紹介したい。（会場では、熊本産業振興顧問である今村徹氏の講演資料のパネル展示、県商工労働部作成の半導体関係動画の視聴（放映）は決定し、現在は市内半導体メーカーからの半導体の現物展示の検討をメーカーと交渉中である。）

（エ）企画展「平和の祈り～戦時中のくらし～」

・7 月 17 日（水）～30 日（火）

後援：一般社団法人　くまもと戦争と平和のミュージアム設立準備会

（オ）合志市ふるさとカルタ活用

・「台熊祭々in 合志」が 5 月 18・19 日（土・日）に熊本県農業公園カントリーパークにおいて開催が予定されており、その中で合志市ふるさとカルタ台湾語訳 30 セットを寄贈し、配布予定である。

（カ）令和 6 年度熊本県博物館連絡協議会の総会

・6 月 14 日（金）合志市総合センターにて開催

③文化財保護委員会運営事業

（ア）令和 6 年度文化財保護委員会年間計画

内容＼月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
文化財保護委員会会議（全 4 回）		○						○				○
熊本県文化財保護協会総会		○										
熊本県文化財保護協会研修			→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

（イ）文化財情報（標柱・説明看板・場所案内板の有無や現況）の調査

・2 年にわたり各地域の文化財位置情報を把握して頂いた。今年度は、文化財（調査済）の「標柱」・「説明看板」・「場所案内板」の調査をお願いしたいと考えている。市民の方々の文化財に対する興味・関心を深めていくために、案内板や説明看板の充実を図る必要があると考え、今年度の調査をお願いすることとした。確認作業時に、「文化

財の現況（草などに覆われている・破損・確認できない)」などの現況の調査もお願いしたい。
・調査期間は、令和 5 年 5 月から令和 7 年 3 月までの約 2 年間を予定している。

地区	R6
上庄・福原・豊岡	―
野々島	―
栄・幾久富	―
須屋・合生	―
御代志・上生	―
竹迫	―

④伝統郷土芸能等支援事業

	団　　体	令和 6 年度予算額	令和 5 年度実績額
1	須屋太鼓保存会	¥72,000	¥72,000
2	須屋神楽保存会	¥77,000	¥77,000
3	西合志弁天太鼓保存会	¥72,000	¥72,000
4	弘生ウソ替保存会	¥23,000	¥23,000
5	合志市郷土史愛好会	¥71,000	¥49,000
6	須屋小屋地蔵祭実行委員会	¥0	¥0
7	上庄城山祭り実行委員会	¥0	¥80,000
8	竹迫観音祭保存会	¥122,000	¥122,000
合　　計		¥437,000	¥517,000

(2) その他

① 市遺産制度の検討について（別紙 1）

・黒石原（飛行場）奉安殿跡を黒石原飛行場跡の一部とした緩やかな文化財の認定を検討する。

② 国登録有形文化財について

・菊池恵楓園の旧事務本館（1951 年建設）の国登録有形文化財への登録に向けて要請があった。今後、恵楓園と県の調整を行う予定。

※旧社会交流会館は、2006 年 12 月 12 日に旧事務本館に設置された。2022 年 5 月に旧社会交流会館を改修した 2 階建ての本館と増築した平屋の新館からなる歴史資料館となった。